

2003.2 第10号

下町河川 Tomorrow

これは東京都の江東内部河川流域連絡会の情報誌（議事録）です。

12月16日（月）

第10回江東内部河川流域連絡会が開催されました。



平成14年12月16日（月）午後2時から墨田区役所の第101会議室において、「第10回江東内部河川流域連絡会」が約2時間半にわたり開催されました。

都民委員10名、行政委員11名の計21名の委員のうち、16名が参加しました。

（名簿は6頁）

当日は、初めに新委員の紹介があり、その後、座長の選出、行政委員からの情報提供、第2期（第6回～第10回）の活動状況報告があり、最後に都民委員の皆さんに第2期を通しての感想と流域連絡会の今後のあり方について述べていただきました。

行政委員からの情報提供

江東内部河川整備計画について

- ・整備計画策定までの流れと流域の概要説明をしました。
- ・整備計画の目標である「伊勢湾台風級の高潮や豪雨による水害を防ぐ」、「大地震による水害を防ぐ」、「地域の皆さんと連携して自然環境の保全・創出を図る」について説明しました。
- ・「環境に配慮した整備」「河川に関する情報の提供」など、「江東内部河川の明日の姿」を説明しました。



和船の寄贈について

- ・アメリカ人の船大工、ダグラス・ブルックスさんが日本の船大工、藤原一善さんから指導を受け、その過程を記録保存し、日本の伝統技術である和船建造技術を後世に伝えるものです。
- ・前回報告の通り、和船2隻のうち1隻（伝馬船）が10月下旬に完成しました。
- ・完成した伝馬船は、現在江東区役所の2階フロアに展示しています。将来は木場公園に保管する予定です。
- ・もう1隻の猪牙船（ちょきぶね）は現在建造中で1月上旬には完成の予定です。
- ・猪牙船は完成後、横十間親水公園で和船友の会により、遊覧に利用する予定です。



猪牙船

河川環境整備の推進と水上利用の拡大について

- ・旧中川記念植樹
21世紀の東京河川アクションプログラムの一環として、旧中川の河川敷に桜を35本（染井吉野20本、大寒桜15本）植えました。
- ・Eボートの進水式
10月12日に江戸川区で開催した「全国川サミット in 江戸川」を契機に河川の水上利用の促進を図る目的で、組み立て式のEボートを購入し、進水式を兼ねて江東内部河川の川面からの散策を実施しました。
- ・旧中川の艇庫について
旧中川の「さくら大橋」と「もみじ大橋」の橋脚下の空間を地域に密着した活動を行っている水上スポーツ団体の艇庫として使用することになりました。



Eボート進水式

第2期の活動状況

第6回流域連絡会（平成13年7月11日開催）

- ・新しい都民委員を迎え、第2期流域連絡会が発足しました。設置要綱等を確認した後、座長の選出が行われました。
- ・「低地の河川」の概要説明のほか、環境局の「水環境保全計画」、下水道局の「合流改善クイックプラン」の説明がありました。
- ・区の情報として「大横川親水公園」と「12年度の整備箇所」（墨田区）、「水辺の散歩道」（江東区）、「ボート教室の開催」と「旧中川灯籠流し」（江戸川区）の説明がありました。
- ・都民委員からも多くの意見、質問がありました。

第7回流域連絡会（平成13年10月17日開催）

- ・河川と施設の現地見学会を開催しました。
- ・「旧中川（ふれあい橋付近）」 「横十間川（親水公園）」 「大横川（南辻橋～菊柳橋）」 「扇橋閘門」の順に見学しました。
- ・都民委員の皆さんは旧中川がきれいに整備されていることや扇橋閘門の仕組みに感心していました。

第8回流域連絡会（平成14年1月31日開催）

- ・第7回（見学会）の質問に対する回答を行いました。
- ・現地見学会の関連事項として「東京を守った高潮堤防や水門（台風15号の記録）」と「カヌー教室」（江東区）の説明がありました。
- ・「江東内部河川整備計画」について行政委員から説明がありました。
- ・都民委員から「船を使った防災活動」などの意見が寄せられました。

第9回流域連絡会（平成14年7月10日開催）

- ・「小名木川整備計画」、「全国川サミット in 江戸川」（江戸川区）、「和船建造について」（江東区）の説明がありました。
- ・臨時委員からは「下町・川ものがたり」のスライド上映と「江東区の水辺に親しむ会」の活動報告がありました。
- ・事務局からは、「旧中川整備促進イベント」と「流域連絡会のホームページ」についてのお知らせがありました。
- ・都民委員からは係留船対策や旧中川と横十間川の整備についての質問がありました。

都民委員の感想と流域連絡会の今後のあり方

都民委員の感想

- ・流域連絡会に参加させてもらい勉強になりました。
- ・最近河川の水もきれいになり、鳥も増えてうれしく思います。
- ・河川の整備が進み、地域の環境が良くなっていることを行政はもっとPRをすべきだと思います。
- ・工事の進捗状態を分かるようにしてほしい。
- ・これまでは、江東区は地盤も低くて、水に対して危ない場所というイメージを持っていました。今は耐震対策などが進み、水害から守られている心強さを感じています。
- ・大震災が起きると、道路がほとんど使えなくなると思う。道路を使用して救援物資を運ぶことは非常に困難なので、河川を利用すべきだと思う。
- ・特に防災船着場についてもっと住民にPRしてもらえれば、住民も安心できるのではないか。
- ・河川には昔から「清流」というイメージがある。皆の協力で河川を浄化していくという気持ちがあれば良いと思う。
- ・旧中川は本当にきれいになりました。隔世の感があります。しかし行政はやはりPRが下手で、一般の方にはなかなか伝わらない。流域連絡会を活用するなどして、もっとPRしていくべきでしょう。
- ・参加してよかったと思います。ただ行政全体に言えることだが、江東内部河川を整備するにしても都と区の役割分担が分からない。一般の人にわかるようにしてもらいたい。

流域連絡会の今後のあり方

- ・河川整備は、一朝一夕には進まずこれまでの長い年月の成果によって、今日の姿があります。これからも河川整備には長い年月がかかるとは思いますが、今後も流域連絡会などを通じて都民のみなさんと話し合いをしながら、整備を進めていきたいと思っています。
- ・第2期の委員の皆さんには、2年間にわたりいろいろな形でご協力をいただきました。2年間で5回という開催回数でしたが、第3期にはもう少し回数を増やしていくつもりです。
- ・15年度からは新たに委員を募集し、第3期の流域連絡会を発足しますが、要綱にありますとおり、委員の皆さんの再任は妨げないとなっておりますので来期もぜひ、ご応募ください。

江東内部河川流域連絡会（第10回）委員名簿

都民委員 (10名)	小出 義隆	墨田区
	武市 みどり	墨田区
	羽鳥 亜季夫	墨田区
	増田 淳子	墨田区
	安達 幹雄	江東区
	畔柳 昭雄	江東区
	鶴見 昭子	江東区
	芳賀 勲	江東区
	古谷 和雄	江戸川区
	山内 久二	江戸川区
行政委員 (11名)	村井 重太郎	墨田区都市計画部都市整備担当都市施設課長
	粒來 堯	江東区土木部水辺と緑の課長
	高井 聖	江戸川区土木部計画課長
	穂積 憲重	東京都環境局環境改善部計画課長
	渡辺 志津男	東京都下水道局建設部土木設計課長
	飯塚 保	東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長
	井内 克巳	東京都建設局河川部指導調整課長
	若尾 啓介	東京都建設局河川部副参事（総合治水・低地河川防災計画担当）
	本間 邦博	東京都建設局第五建設事務所管理課長
	阿久津 勉	東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長
金井 崇浩	東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担 当：小林、塚本

TEL：03-3692-4651(代)内線431 FAX03-3692-9955